

府立西浦支援学校



テーマ:ICT を活用した授業力向上 ～未来を生きる主人公を育てる～

概要

授業における ICT の効果的活用方法の探求

授業の中でどのように ICT を活用するのかを探求する 3 年間の最初の年として研修を行いました。全教員が「使ってみる」「使うと便利だな」「次も使ってみようかな」と考えることにつながる 1 年となるように、GIGA スクールチームを立ち上げました。

そして、このチームが中心となり、ICT をどのような場面で活用すると効果的だろうかということを検討したり、使用のための計画書を作成したりと、授業で ICT を効果的に活用するための様々な仕掛けを考え、実行しました。

実施

スケジュール

Research

5月13日(木) 管理職、研究主任、授業者との打合せ

Plan

6月 指導案検討

Do

7月8日(木) 研究授業(第1回)
研究協議

Do

12月10日(金) 研究授業(第2回)
研究協議

Check & Act

12月10日(金) 全体会(研究協議として)

研究授業

学年・教科： 小学部 6学年 図画工作科

単元名： 「修学旅行へ電車でGO!」

研究協議のポイント
QR コードの読み取りによって動画が再生され、スパッタリングの技法を学ぶことができる、という導入から始まる授業でした。導入時における ICT 活用の効果について協議しました。その中で、子どもの興味関心を引き出せることや、繰り返し再生することができるので、理解をより促進できる点などが挙げられました。



研究授業

学年・教科： 中学部 2学年 自立活動

単元名： 「健康的・文化的な生活を送るための生活実践」

研究協議のポイント
タブレット端末のカメラ機能を用いて、身体の動きを撮影し、その動きを模倣するという授業でした。ICT 機器を使うことで、拡大したり、繰り返し再生したりして体の動きを細かく観察することができ、生徒たちはより細かく筋肉の動きなどを意識できていました。

研究協議では自立活動等の個に応じた指導が必要な場合にも ICT 機器を活用することで可視化された細かい指導ができることなどについても言及されていました。



研究授業

学年・教科： 高等部 2学年 社会科
 単元名： 「日本の文化を知ろう(日本の方言について)」

研究協議の
ポイント

日本の方言についてタブレット端末を用いて検索し、地方によって方言が異なる背景などについて自分なりに考えるを通して、日本の文化について考える授業でした。

研究協議では、タブレット端末の操作に慣れていない生徒と慣れている生徒との差があったことなどが指摘されましたが、個に応じて検索キーワードのヒントを提示するなど支援の工夫によってその差がうまれないようにすることができるのではないかと話し合いになりました。また、ICT の活用については、ICT ありきで授業を組み立てるのではなく、授業のねらいと照らし合わせ、ICT を活用したほうが効果的な指導ができる場合に使用する、ということが再確認されました。



成果

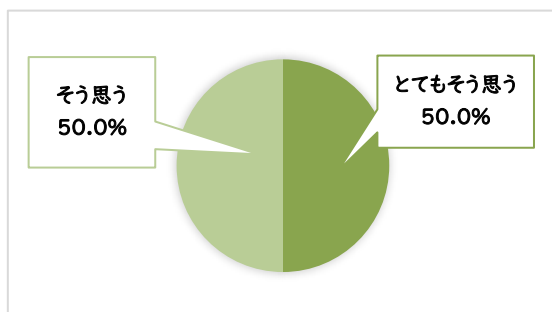
学校全体の ICT 活用についての技術や活用に対する意識を向上することを目的とし、3年計画として研究を進めました。GIGA スクールチームが中心となり、ICT 活用計画書などを作成し、データを蓄積するなど、教員の ICT 活用に対するモチベーションを高める工夫がなされていました。

ICT活用というテーマで多数の教員が研究授業を行い、お互いの授業を参観する機会を作るなど、学校全体として研究が大きく進展した一年でした。

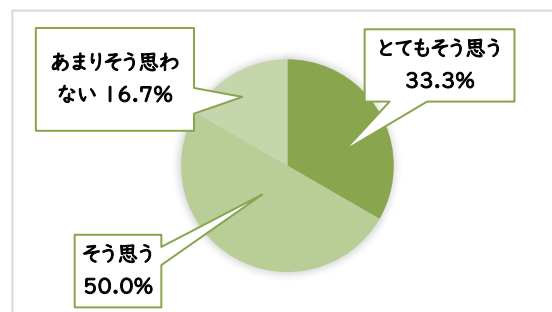
教員にとってのICT活用と子どもにとってのICT活用について、使用の目的の違いや効果についても明確になりました。

アンケート
結果

① 学校のニーズにんでいた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- ・ タブレット型端末 1人1台時代に対応すべく本校も3年間の研究テーマとして ICT 活用を掲げており、校内研修を自分たちで重ねるだけではなく、校外からの指導助言があったことが良かった。
- ・ 授業者の授業力の向上を図ることができた。また、研究協議を通して、授業者以外の教員の意識改革にもつながったと思う。
- ・ 的確な指導助言があり良かった。
- ・ 授業案に対しても指導があり、評価の観点等について学びがあった。研究授業を通して指導助言いただいたことを参考にして今後の授業力向上につなげたい。